

【小売業】

# スーパーマーケットの 生産性向上活動報告

テーマ：バックヤード業務生産性向上

**Canon**

平成29年 5月24日

# 会社(改善現場)概要

■株式会社 さえき (本社：東京都国立市)

事業内容 : 総合食品スーパーマーケット

多摩地域を中心に14店舗を展開

従業員数 : 1026名 (パート含) 平均年齢32歳

■フーズマーケットさえき 多摩平の森店

住所 : 東京都日野市

売場面積 : 300坪

従業員数 : 85名 (パート含)



# 活動の方向性

## 1. 流れの改善

物や情報の流れを整理し改善に結び付ける

## 2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

## 3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

# スケジュール



# 活動の方向性

## 1. 流れの改善

物と情報の流れを整理し改善に結び付ける

## 2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

## 3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

# 1. 流れの改善

## 改善テーマ

バックヤードにおける商品の停滞をなくすこと

### 作業内容

バックヤードから売り場の  
陳列棚に商品を補充する



### 問題点

- 1) バックヤードに商品が煩雑に置かれている  
⇒スペースのムダ・探すムダ
- 2) 売り場の陳列棚の空きを確認後、バックヤードから補充する  
⇒歩行のムダ

# 1. 流れの改善

## 改善点

- ①大物商品(飲料, 酒等)と小物商品(その他)に分けて整理整頓
- ②売り場にストック棚を新規に追加し、小物商品を移動・保管
- ③バックヤードのカゴ台車の配置ルールを決定

### ②小物商品(売り場)



### ③大物商品(バックヤード)



# 1. 流れの改善

## 改善効果

- ・ストック棚追加により小物商品の**カゴ台車の数の削減**

9台から4台へ⇒**56%削減**

→生み出されたスペースで通路を確保

- ・**ムダな歩行の削減とカゴ台車を取り出す作業の軽減**

効果時間：150時間/年⇒**生産性向上5%**

(※3,000時間/年→2,850時間/年)

効果金額：15万円/年 (※時給1,000円として換算)

(投資金額：14万円)

(※ストック棚作成の費用)



# 活動の方向性

## 1. 流れの改善

物と情報の流れを整理し改善に結び付ける

## 2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

## 3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

## 2. “人一人あたり”の生産性向上

### 改善テーマ

キャベツカットに一個流しを導入し作業時間を短縮



### 作業内容

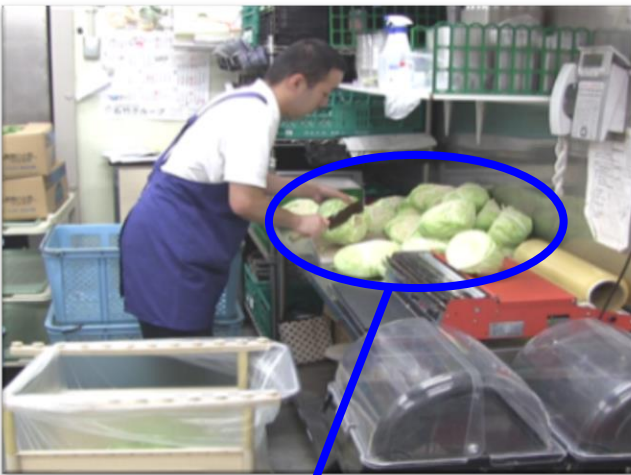
キャベツ1個を半分にカットし、  
ラップ掛けを行う

### 問題点

- ・1個ずつでなく  
まとめてカットしている

⇒ 仮置きスペースのムダ

⇒ 取り置き動作による時間のムダ



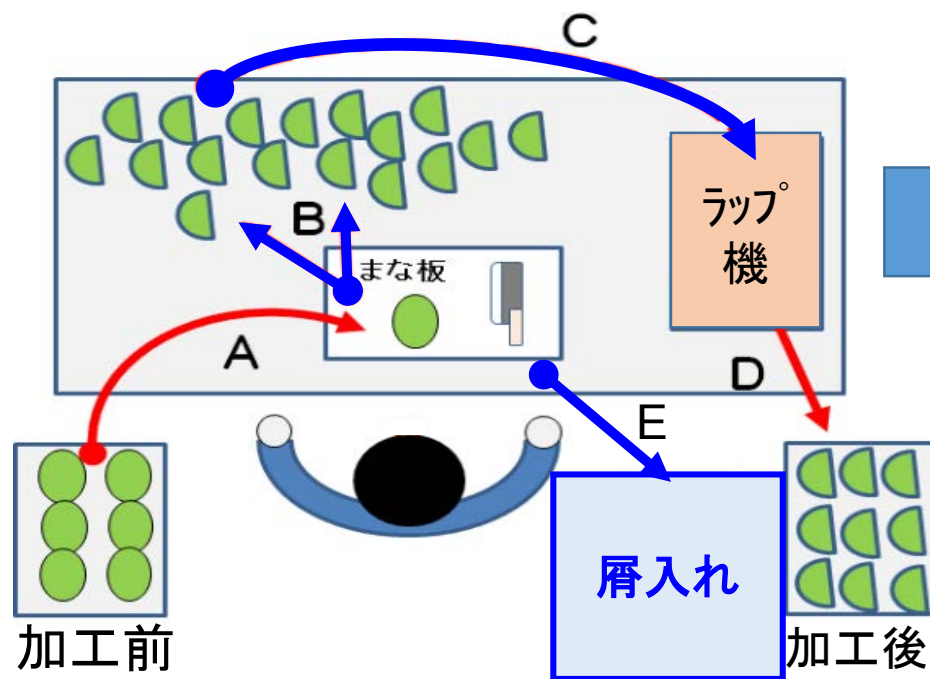
まとめ加工による仮置き

## 2. “人一人あたり”の生産性向上

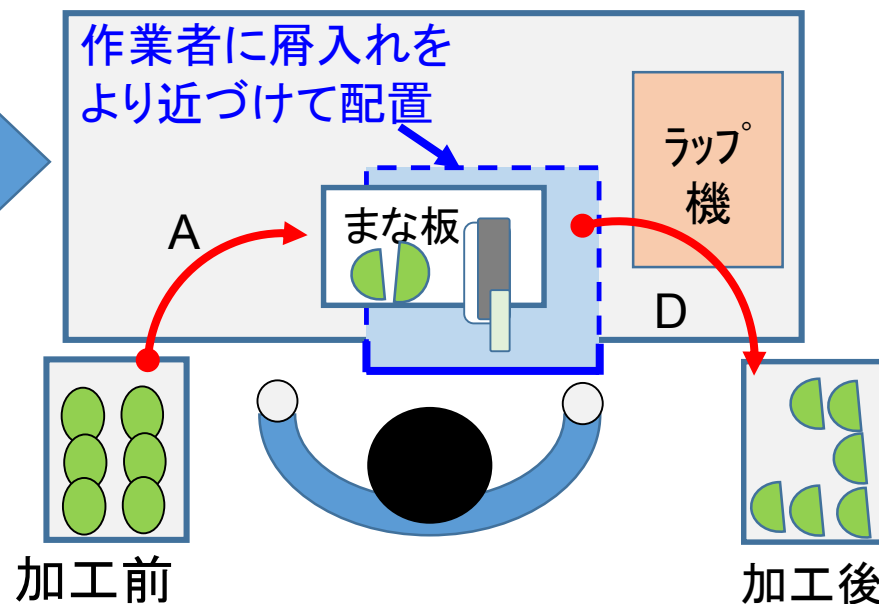
### 改善点

- ①「まとめ加工」から「一個流し加工」へ変更
- ② 仮置き場の廃止
- ③ 屑入れの配置見直し

改善前（まとめ加工）



改善後（一個流し加工）



## 2. “人一人あたり”の生産性向上

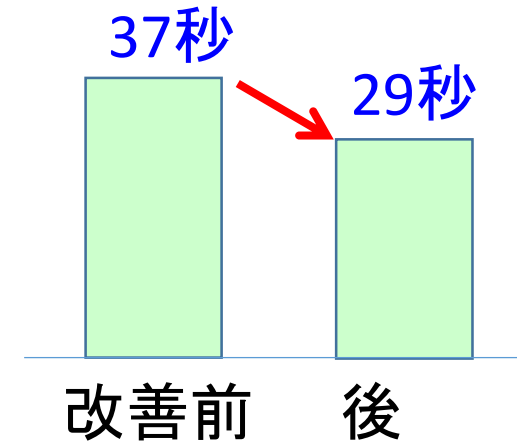
### 動画紹介



## 2. “人一人あたり”の生産性向上

### 改善効果

- ・一個あたりの作業時間  
**8秒短縮**  
**生産性向上 22%**



効果時間 20時間/年 (※年間9,000個として算出)

効果金額 2万円/年 (※時給1,000円として換算)

- ・他店/他野菜にも横展開を実施中